

[ 横浜市民ギャラリーあざみ野 ]  
平成 22 年度業務報告及び収支決算  
[ 公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標、達成状況欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市民ギャラリーあざみ野
所在地	青葉区あざみ野南一丁目17番地3
構造・規模	鉄筋鉄骨コンクリート造地上3階・地下1階
敷地・延床面積	敷地面積 4,283 m <sup>2</sup> 延床面積 7,899 m <sup>2</sup> / 専有面積 1,975 m <sup>2</sup>
開館日	平成17年10月29日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区北仲通四丁目40番地
代表者	理事長 澄川 喜一
代表者設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成22年4月1日から平成27年3月31日まで

3 指定管理に係る業務総括

(1) 基本的な方針の総括

**指定管理第2期のテーマ「アートで元気になろう」の事業展開を開始しました。**

アートを積極的に生活に取り入れこころ豊かに暮らす市民といっしょに地域に働きかけ、横浜を元気にすることを目指し、創造性のある活動を多く行いました。いろいろな活動をしている人たちが知り合い、協力しあい、新しい活動が生まれる体制づくりに努め、すべての人に開かれた運営に男女共同参画センター横浜北（以下「センター横浜北」とする）とともに取り組むことで、横浜市の地域文化振興に貢献しました。

(2) 22年度の業務の方針及び達成目標の総括

① 事業の総括

美術を中心とした芸術文化のすばらしさに触れることができる展覧会、ジャンルを超えた文化事業、市民がアーティストとともに美術作品の制作や表現活動を体験するアトリエ事業、市民や各種団体が行う活動に対する支援、センター横浜北との連携事業などを実施しました。

② 運営の総括

「市民が主体」のモットーをより具体化し、市民参画の機会を増やし、アートサポーターとして運営に参加できる協働事業を増やしました。また、市民がより使いやすい柔軟な運営に努めました。

③ 管理の総括

バリアフリーやセキュリティ対策など、利用者の居心地のよい施設運営に取り組みました。利用者の希望を受け止め、発表の成果が最大限発揮できるよう専門的なサポートを行いました。

④ その他の総括

常に男女共同参画センター横浜北との連携を図り、施設運営・事業展開の両面において成果を上げました。共に日ごろから個人情報保護や危機管理意識の向上に努め、東日本大震災への対応においても全館職員が一致して適切な施設運営に努めました。

4 業務の達成状況

(1) 事業について

ア 文化芸術に直接出会える場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●展覧会事業</p> <p>・6月は「横浜W0発掘 suru 展」を横浜の優れた人材や芸術文化資源を発掘し、横浜の地場にこだわった展覧会を行います。第1回目となる今回は黄金町で活動する若きアーティストたちにスポットを当てて紹介します。</p> <p>・夏には「あざみ野こどもぎやらりい」を展示室1と2、アトリエを使って展覧会と自由参加型のワークショップを2週間にわたって行います。</p> <p>・秋の展覧会では、横浜市所蔵カメラ・写真コレクション+企画展を開催しま</p>	<p>■満足度調査を実施し、“大変良かった”が95%以上。</p> <p>□展覧会を4回実施し、関連事業を含め企画展全体で入場者数12,000人以上を目指します。また、市民の幅広い関心に答える様々なテーマの企画展を実施します。</p>	<p>展覧会4回を計画通り実施しました。</p> <p>「横浜wo発掘suru 展」では黄金町で活躍するアーティストが当館の空間にあわせた意欲作を発表しました(入場者:1,535人)。</p> <p>「あざみ野こどもぎやらりい」では参加型のワークショップで制作した作品を会期中に展示し、子どもを中心に多くの来場者がありました(入場者:3,490人)。</p> <p>「赤瀬川原平写真展 散歩の収穫+横浜市所蔵カメラ・写真コレクション展」では、赤瀬川原平の写真と文章を、互いに引き立てあうように配することによっ</p>	<p>展覧会の内容に関する顧客満足度調査では、満足度は平均4.52(5点満点)でした。</p> <p>企画展4回の入場者数は合計12,824人でした(それぞれ関連事業を含む)。それぞれ展示内容、関連事業ともに好評をいただき、高い評価を得ました。マスコミに取り上げられる回数も増え、掲載・取材は延べ70件を超えました。</p>

<p>す。関連文献や機器が10000件あり、それらを歴史や文化、風俗などを絡めた展覧会。</p> <p>・1月には「あざみ野コンテンポラリー」で、さまざまなアーティストが、現在行っている表現活動に目を向けた展覧会を行います。多くのサポーターと協働で企画運営します。</p>		<p>て、ユーモアあふれる面白い深さが来場者に好評を博しました(入場者:4,555人)。「あざみ野コンテンポラリーvol.1 イメージの手ざわり展」では「映像」をテーマに展覧会と上映会で1組と18人の作家の作品を紹介し、関連事業も様々な展開したことで、子どもからアートファンまで、それぞれの視点で楽しめる企画となりました。また、アートボランティア(アートサポーター)に展覧会の企画から運営に主体的に参加していただき、来場者からも市民の活躍が大いに評価されました(入場者:3,244人)。</p>	
--	--	---	--

イ 市民やアーティストの創造活動の支援の場について

<p>[取組内容]</p> <p>●市民のためのワークショップ</p> <p>・「アートABC」技術や材料、また道具や機材の扱いについての基礎基本の習得を目的とした講座を行います。</p> <p>・「アーティストから学ぶ」アーティストから独自の表現についてレクチャーを受け、ワークショップを通して体験し、それらを自らの表現に生かす講座を行います。</p> <p>●ショーケースギャラリー</p> <p>・ホワイエにカメラ・写真コレクションや、アーティストの小品展を見もらう展示ケースを設置します。</p> <p>●あざみ野カレッジ</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■満足度調査を実施し“大変良かった”が95%以上</p> <p>□あざみ野メンバーズ目標登録者数5年間で10,000名とします。(22年度は2,000名)</p> <p>□あざみ野カレッジは、5年間で学生数1,000名を目指します。(22年度は200名)</p>	<p>[実施内容]</p> <p>■様々なワークショップや事業を計画通り実施しました。市民のためのワークショップは、「油絵」「水彩画」「陶芸」「ヌードクロッキー」「写真史と写真制作のワークショップ」など、毎回充実した内容で参加者の好評を得ました。</p> <p>■ショーケースギャラリーでは、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションの公開と、新進アーティストによる小品展示を行いました。</p> <p>■あざみ野カレッジでは「歌声喫茶」「アートプロデューサーが見たコンテンポラリーアートの現場」をテーマにオープンカレッジを開催</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■市民のためのワークショップは、毎回充実した内容で参加者の好評を得ました。顧客満足度調査では、満足度は平均4.7(5点満点)でした。</p> <p>■あざみ野メンバーズ登録者は今年度末で約920名です。今後も内容の充実を図り、登録者数増に努めます。</p> <p>■あざみ野カレッジはオープンカレッジを開催し、約60名の参加者がありました。</p>
---	--	--	---

<p>・知っている人を〈先生〉に、知りたいことを〈授業〉にする学校を市民協働で運営します。</p> <p>●アーティスト今年の顔</p> <p>・紹介する新進アーティストは「今年の顔」として、展覧会にいたるまでの節目ごとにサポーターよりレポートされます。展覧会の運営に市民に関わって支援してもらう仕組みをつくります。</p> <p>●あざみ野メンバーズ</p> <p>・メールマガジン登録者を指します。メールマガジンは館の催し物の案内を中心に情報発信するほか、ボランティア活動や市民参加の運営会議の情報など、連絡体制づくりを目的とします。</p> <p>●あざみ野アートネットワーク</p> <p>・ホームページを活用し、文化芸術施設やアートサイト事業などとリンクし、横浜のアート情報にアプローチしやすい体制をつくります。窓口での広報協力を積極的に行います。</p>		<p>しました。来年度以降、多彩な先生を迎え、様々なテーマをとりあげた授業を定期的を開催します。</p> <p>■あざみ野メンバーズ向けのメールマガジンでは事業の広報や報告、その他の美術情報提供など、積極的な情報発信を行いました。</p>	
---	--	---	--

ウ 次代を担う子どもの創造性教育の場について

<p>[取組内容]</p> <p>●子どものためのプログラム</p> <p>・「わくわくワークショップ土曜講座 日曜講座」 幼児と児童を対象にしたワークショップを土曜・日曜に開催します。</p> <p>●親子で造形ピクニック</p> <p>・個別支援学級や特別支援学校に通う親子を対象に自分の好きな素材で造形を楽しむワークショップを開催します。</p> <p>●子どものためのプログラム</p> <p>・「親子のフリーズーン」</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■満足度調査を実施し“大変良かった”が95%以上</p> <p>■アウトリーチを年間5回実施します。</p>	<p>[実施内容]</p> <p>様々なワークショップや事業を計画通り実施しました。</p> <p>子どものためのプログラム、フリーズーンともに順調にリピーターが増え、常に定員を満たす受講者がありました。</p> <p>鑑賞プログラムは、新田なかよしクラブ(学童)に「こどもぎやらい」</p>	<p>[達成状況]</p> <p>■顧客満足度調査では、満足度は平均4.8(5点満点)でした。</p> <p>■アウトリーチ事業は「絵の具を使う」、「凧をつくる」、「映像をつくる」等の内容で、近隣小中学校において8回実施しました。</p> <p>(市立新羽小学校3回、市立美しが丘東小学校、市立鴨志田第一小学校、市立鴨志田中学校3回)</p>
---	---	--	---

<p>粘土、紙、えのぐで遊べる活動で月3回程度通年で開催します。</p> <p>●クリスマスジュニアコーラス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の小学生たちによる、クリスマスコーラス。最終日にはロビーコンサートに出演します。</li> </ul> <p>●学校のための鑑賞プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞事業として、展覧会を活用してもらうための連携事業を開催します。</li> </ul> <p>●教師のためのワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の先生を対象に鑑賞・実技のワークショップを開催します。</li> </ul> <p>●ティーチャーズあざみ野プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学、高校美術の先生とのプロジェクトをつくり、市民ギャラリーあざみ野の事業に参加を促します。</li> </ul> <p>●アウトリーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「横浜市芸術文化教育プログラム」に「コンテンポラリーアートを楽しもう」というプログラムで参加します。</li> </ul>		<p>の鑑賞に来場していただきました。(約40人)</p> <p>教師のためのワークショップは、青葉区図工研究会の研修会において実施しました。(30人)</p> <p>ティーチャーズあざみ野プロジェクトは、第1回として、中学校の美術の教師を対象に「あざみ野コンテンポラリー」の鑑賞会を実施しました。(20人)</p> <p>今後は当財団の中期経営計画(2011-2013)の基本施策として位置づけ、ネットワーク構築を推進します。</p>	
--	--	--	--

## エ 創造活動と社会、市民活動を結びつける場について

<p>[取組内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サポートコーディネイトをします。</li> <li>○北部4区美術公募展</li> <li>・実行委員会の共催で開催します。</li> <li>○青葉区民芸術祭</li> <li>・絵画・書道・写真・茶道・文芸など、施設全体を市民交流の場とします。</li> <li>●街なかアートプロジェクト</li> <li>・アート・ルート・あざみ野プロジェクトを発展さ</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ■満足度調査を実施し “大変良かった” が95%以上</li> <li>② □公募展の拡がりや定着を反映し、展示室全面を利用して展覧会を開催します。応募総数250点以上をめざします。</li> <li>③ □街なかアートプロジェクトは5年間で15事業実施します。(22年度は3事業)</li> </ol>	<p>[実施内容]</p> <p>北部公募展、青葉区民芸術祭ともに青葉区を中心とする実行委員会との協力を強め、充実した内容の展示となりました。</p> <p>公募展は周知が進み、応募総数・来場者数ともに伸びました。</p> <p>指定管理第2期の新規事業である街なかアートプロジェクトは、AOBA+ARTの活動の場で、“アート屋台”『アート・ハット アートな帽子をつくりませんか?』という出張ワークシ</p>	<p>[達成状況]</p> <p>顧客満足度調査では、満足度は4.17(5点満点)でした</p> <p>北部公募展の応募総数は297点、青葉区民芸術祭の応募数(出品数)は前期266点(団体)、後期324点でした。</p> <p>出張ワークショップ“アート屋台”『アート・ハットアートな帽子をつくりませんか?』を3回実施しました。</p>
---	---	--	--

<p>せ、「元気な活力」で地域のさまざまな市民活動と結びつき、出張事業を行います。</p>	<p>ヨップを実施しました。子どもたちを中心に地域の方々の注目を集め、参加者に喜ばれました。</p>	
---	--	--

オ 創造活動を介した人々の関わり合いの場について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>●アートカフェ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民とアーティストが知り合う「アートカフェ」を春・夏・秋に開催します。</li> <li>・新しいグループや活動が生まれるネットワークの場をつくります。</li> </ul> <p>●アートワゴン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストやハンディキャップの人たちのアート作品を販売するワゴンショップを、市民協働で運営します。</li> </ul> <p>●あざみ野ナイト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物の壁面や窓ガラスを使って映像作品を映し出すイベントを行います。</li> </ul> <p>●アートガーデン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館の前庭(アートプラザ)に子どもが楽しめるアートな遊具をつくります。</li> </ul> <p>●エイブルアートギャラリー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校や作業所に呼びかけて、今年度は2組の展示を行います。</li> </ul>	<p>① ■満足度調査を実施し “大変良かった” が95%以上</p> <p>② 新しいグループや活動が生まれるネットワークの場をつくります。</p> <p>③ 他の文化施設などとのネットワークをつくり、情報の共有を図りそれらを市民に提供するシステムをつくります。</p>	<p>指定管理第2期の新規事業である各事業で多くの参加者があり、好評でした。アートカフェは企画展開会に合わせて4回、アートワゴンは3回開催し、アーティストと市民や障がいのある人との交流を推進しました。</p> <p>あざみ野ナイトは、映像作品の上映を見る多くの来場者があり、賑わいました。</p> <p>アートガーデンの整備をし、屋外の憩いの場として利用者に喜ばれています。</p> <p>エイブルアートギャラリーは名称を「フェローアートギャラリー」とし、「studio COOCA 展」(スタジオ・クーカ)、「川戸由紀」の2組の展示を行いました。</p>	<p>① ■いずれの事業もフリースペースで実施したため満足度調査を実施しましたが、来場者からは“継続的に実施してもらいたい”という声が多く寄せられました。</p> <p>② アートカフェで集った方々がアートワゴンに出店するなど、ネットワークが広がっています。</p> <p>③ 横浜美術館や横浜市民ギャラリーと相互の広報協力を行い、アートサポーター(ボランティア)向けの鑑賞会を実施するなど、ネットワークを生かした美術振興を推進しました。</p>

(2) 運営について

ア 市民の利用を促進することについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・施設の提供については、新規の利用者の開拓にさらに努めます。</p> <p>・夜間利用促進キャンペーンとして、アトリエの平日夜間料金を1年間半額とし利用促進を図ります。</p> <p>・利用者の意図が最大限発揮できるよう具体的なアドバイスやお手伝いをします。</p> <p>・利用団体登録を引き続き原則としデータ化していきます。</p> <p>・貸し出しマニュアルの整備等実施します。</p>	<p>① ■アンケートの集計による利用者の満足度（大変良かった・良かった）が95%以上を目指します。</p> <p>② 開館日数・時間について 347日 9:00～21:00 （休館日：月1回の施設点検日、年末年始休館6日）</p> <p>③ ■目標利用率 展示室：95% アトリエ：5年間で70%（22年度は60%）</p> <p>④ よりよい施設として利用者懇談会を実施しご意見を伺っていきます。改善等は速やかに実施いたします。</p> <p>⑤ 貸し出しシステムの安定的運用を図ります。</p>	<p>① ■利用者の満足度調査では平均4.77(5点満点)でした。99%の方が「今後も利用したい」と回答しています。</p> <p>② 開館日数・時間については、3月11日の大震災直後の臨時休館（4日間）を除き、計画通り実施しました。</p> <p>③ ■目標利用率については、展示室は96%で、利用希望者が増え続けています。アトリエは、微増しましたが今年度は約55%でした。平日夜間料金の半額適用は引き続き実施し、利用促進を図ります。</p> <p>④ 利用者懇談会はH21年度で終了しましたが、アンケートや窓口でその都度ご意見をいただき、迅速な対応をしました。</p> <p>⑤ 貸し出しシステムは、安定的にトラブルなく運用されています。</p>	<p>① ■満足度調査では、満足・ほぼ満足が97.5%でした。</p> <p>② 開館日数は343日でした。</p> <p>③ ■利用率は展示室96% アトリエ55%でした。</p> <p>④ 展示室利用者の控室を利用しやすくするなど、利用者サービス向上に努めました。</p> <p>⑤ 貸し出しシステムは安定的に運用し、遺漏ない貸出業務を行いました。</p>

イ 施設運営における市民参画を促進することについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>アートサポーター登録制度</p> <p>・「アーティストサポーター」</p> <p>&lt;あざみ野コンテンポラリー&gt;は市民協働で行う展覧会で、他の展覧会の調査や</p>	<p>① ■アーティストサポーターは5年間で150名登録を目指します。(22年度は30名)</p> <p>② アーティストサポーターが横浜トリエンナーレでも活躍できることを目指し</p>	<p>「あざみ野コンテンポラリー」ではアートサポーター(アーティストサポーターから名称変更)が企画段階から運営に主体的に参加し、事前広報や事業報告(レポート)な</p>	<p>① ■アートサポーターは今年度約130名の登録がありました。</p> <p>② アートサポーターの自主的な創作活動が生まれるなど、成果が出ています。平成23年に開催され</p>

<p>アーティストの発掘をするボランティア。2月の展覧会に至るまで、その間の広報やブログを担当する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ワークショップサポーター」</li> </ul> <p>あざみ野の展覧会はアーティストトークやワークショップなど、市民参加型で行う。その際、補助的な役割を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「編集サポーター」</li> </ul> <p>季刊誌「アートあざみの」の編集に関わり、展覧会やワークショップの記事を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「運営サポーター」</li> </ul> <p>〈あざみ野カレッジ〉の企画運営ボランティア。</p>	<p>ます。</p>	<p>ど、多方面で活躍していただきました。</p>	<p>る横浜トリエンナーレでも活躍が期待されています。</p>
--	------------	---------------------------	---------------------------------

#### ウ 積極的な広報を展開するについて

<p>[取組内容]</p> <p>的確な広報展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット広報事業の「あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク」</li> </ul> <p>〈あざみ野メンバーズは、メールマガジン登録者〉</p> <p>〈あざみ野ネットワークはホームページを通じた対施設の情報共有システムの事〉</p> <p>H22年度にはメーリングリストが稼働できるようにします。あざみ野駅周辺、東急田園都市線沿線などへの広報拡大を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「アートあざみの」は、貸館利用者の情報のほか、当館開催事業のPRの</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① ■ ホームページアクセス件数が年間5万件を目指します。</li> <li>② サポーターの広報への関わりが拡大します。</li> <li>③ あざみ野メンバーズ、目標登録者数5年間で10,000名とします。(22年度は2,000名)</li> </ol>	<p>[実施内容]</p> <p>ホームページリニューアルに伴いアクセス数が40万件を超え、飛躍的に増えました。</p> <p>情報誌「アートあざみ野」やホームページでアートサポーターによるイベント報告を執筆していただくなど、参加を促進しました。</p> <p>あざみ野メンバーズの登録者は今年度末で約920名です。今後も内容の充実を図り、登録者数増に努めます。</p>	<p>[達成状況]</p> <p>ホームページアクセス数: 433,898件。</p> <p>ホームページのブログでは「赤瀬川原平写真展」、「イメージの手ざわり展」(関連事業)でアートサポーターによるイベント報告を執筆していただきました。</p> <p>あざみ野メンバーズ登録者: 約920名(平成23年3月末日現在)。</p>
--	--	---	--



<p>ために活用。カメラコレクションの紹介ページや、市民レポーターによる記事掲載、地域のアート情報など、市民がアートと関わる「窓口」となるような媒体とします。また、HPやメーリングリストとの連携を図りながら、タイミングの良い情報提供を行うことで、新規来館者とリピーターの獲得を目指します。</p>			
--	--	--	--

エ 市民ニーズ、市民満足度等の把握と対応について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者への顧客満足度調査を引き続き実施します。</li> <li>事業ごと、利用室ごとなどの統計を分析し管理運営に反映していきます。</li> <li>・利用者、並びに事業アンケートを実施します。</li> <li>・利用者懇談会を開催し運営に反映します。</li> </ul>	<p>① 利用者サービスの向上を図るため、クレームやご意見について職員の情報共有や改善検討の場をより頻繁に実施します。</p>	<p>アンケートや窓口でのご意見には迅速な対応をしました。</p>	<p>常に職員間の情報共有と利用者サービス向上につながる業務改善に努めた結果、クレームはほとんどありませんでした。</p>

オ カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>収蔵庫管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収蔵庫内の温湿度管理</li> <li>・収蔵庫内の環境衛生管理</li> <li>・空気環境管理機器類の保守点検</li> <li>・ケミカルフィルターの交換</li> <li>・文化財害虫生息調査管理・保存</li> <li>・資料の映像記録化</li> <li>・データベースへの入力作</li> </ul>	<p>① 修復の必要性について、ランクをつけ予算の範囲内で重要資料を優先して専門家に委託します。</p> <p>② 写真のあるべき姿を今一度検証します。</p> <p>③ 熟覧については、どなたでもできうる限り応えていきます。(料金については横浜市と調整)</p> <p>④ 資料の技法ごとに年間の累積照度値を決め、その範囲内で展示、貸出を</p>	<p>①修復の必要性について精査しました。</p> <p>②作品データ登録と同時に検証を進めました。</p> <p>③展覧会や TV 番組への貸し出しや熟覧が増えました。</p> <p>④適切な展示・貸出に努めました。</p> <p>⑤・⑥常に環境測定結果を検証し、適切な収蔵庫管理に努めました。専門家・専門機関の協力を得、</p>	<p>①緊急性の高い修復はありませんでした。</p> <p>②引き続きデータ登録とともに検証を続けます。</p> <p>③展覧会や TV 番組への貸し出しや熟覧が6件あり、コレクションの知名度向上と有効活用の機会が増えました。料金については検討中です。</p> <p>④適切な展示・貸出を行いました。</p> <p>⑤・⑥適切な収蔵庫管理を</p>

<p>業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料カード・図書カードの作成・</li> <li>・台帳による管理</li> <li>・収蔵環境の適正化調査・研究・発表</li> <li>・主要な機関と連携して調査研究を進めていきます。</li> <li>・資料を活用した講座を開きます。</li> <li>・カメラ資料のカタログを発行します。</li> <li>・コレクションを種別にホームページ上で公開します。</li> <li>・ロビーでの小展示を年4回行います。</li> </ul> <p>活用（貸出・熟覧）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貸出については、柔軟に対応しますが、コレクションのコンディション維持等に十分に配慮します。</li> <li>・熟覧については、専門家立会いに供します。</li> </ul>	<p>行います。</p> <p>⑤ 年間を通じて温度は20℃±2℃、湿度50%±2%としています。管理については、24時間温湿度・空気集中システムと、3基の自記式温湿度記録計にて常時監視し、管理は電気式パッケージエアコンで行っています。また、pH値を定期的に測定し、測定結果に応じたケミカルフィルターを設置しています。</p> <p>⑥ 管理・保存についての協力機関は、必要に応じて東京都写真美術館、日本カメラ博物館、横浜美術館などの専門機関の協力をあおいでいきたいと考えています。</p> <p>⑦ 講座での資料活用基準、講師については内部の専門職によって実施するほか、外部の専門家を講師として招いて行います。</p> <p>⑧ ロビー展示については、温度強化ガラス製・鍵付で、紫外線吸収フィルムを貼った専門の展示台を使用し、内部には湿度50%を保てるように調湿剤を設置します。</p>	<p>保存および調査研究に役立てました。</p> <p>⑦横浜美術館と協力し、専門家を講師とした市民向け講座・ワークショップ「シリーズ・写真史を体感する」を3期にわたって開催しました。</p> <p>⑧ロビー展示（ショーケースギャラリー）は適切な場所に設置し、展示台内部を指標とおりの環境に保ちました。</p>	<p>行いました。</p> <p>⑦市民向け講座・ワークショップ「シリーズ・写真史を体感する」は、充実した内容で、高度な技術体験を目指す受講者からこれまでにない好評を得ました。</p> <p>⑧ロビー展示（ショーケースギャラリー）適切な環境のもと、2回（「写真であるぞう！子どものためのカメラ」、「ホーム・ムービーのはじまり展」）開催しました。</p>
--	--	---	--

利用状況等について

施設名	22年度	
	稼働率	利用者人数
展示室1・2	96% (96%)	74,238人
アトリエ	87% (55%)	14,726人
その他		
合計		88,964人

※稼働率：日にち単位（時間帯単位）

(3) 管理について

ア 市民ギャラリーあざみ野占有部分における建物・設備・備品の適切な保守管理及び予防保全について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・建物や設備の保守管理を確実にいき、故障などの予防・保全に努め、修繕等には迅速な対応を心がけます。</p> <p>・駐車場については、管理会社と密接な情報交換を実施し、安全に管理します。</p> <p>・展示室の壁面の補修など、良好な状態を保つよう予防保全に努めます。</p> <p>・建物全体全体の環境維持については清掃や保安、施設保全について、常に良好な環境を整えセンター横浜北と効率的な維持管理費の節減に努めます。</p> <p>・展示室の空気調和、空気環境については経過観測を実施します。</p> <p>・利用後の点検を確実にし、清掃はこまめにゴミを捨てるなど常に良好な環境を整えます。</p>	<p>① 年間無事故を目指します。</p> <p>② 修繕等には迅速に対応します。</p> <p>③ 施設の安定的な利用のために、不具合の早期対応などによる予防保存の取組みを行います。</p> <p>④ クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</p> <p>⑤ 清掃、植樹、空調などについて施設の環境維持管理を適切に行います。</p>	<p><b>施設の定期点検において不具合箇所の早期発見に努め、迅速に対応しました。また建物の長寿命化のため、委託会社との情報共有や適切な保守業務を行いました。</b></p>	<p>① 年間無事故でした。</p> <p>② 収蔵庫および展示室の空調機の故障が続きましたが、迅速に修繕を実施しました。共有部分については男女共同参画センターと協力して適切な修繕を行いました。</p> <p>③ 展示室の移動壁のメンテナンス等、円滑な施設利用のための予防保全に取り組みました。</p> <p>④ 快適な環境維持を実現し、年間を通してクレームはほとんどありませんでした。</p> <p>⑤ 設備会社と協力し、年間計画どおりの点検・メンテナンス業務を実施し、環境維持管理を適切に行いました。</p>

イ 環境問題への配慮について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・職員や利用者の廃棄物については、適切な管理、搬出を行います。</p> <p>・クレームの無い、快適な環境維持を目指します。</p> <p>・ゴミに種類や分量の統計を集積し、ゴミの削減に努めます。</p>	<p>① 常にゴミの削減、分別に努めます。</p> <p>② 利用者にはゴミの持ち帰りの原則を徹底し、無理な場合はゴミ袋を有料で販売します。</p> <p>③ 利用者には不便かけないように、不必要な電気</p>	<p>ゴミの削減のため、ペーパーレスや再利用を推進しました。</p> <p>設備会社と協力し、利用者には不便かけない範囲において、こまめな消灯や電源オフを実施しました。</p>	<p>①設備会社と協力し、ゴミの分別は適切に行いました。</p> <p>②利用者の理解が進み、ゴミの持ち帰りが徹底されています。</p> <p>③震災後の計画停電や電力供給不足対応によって、</p>

・電気使用料の削減に努めます。	は消すよう努めます。		利用者の理解も得られ、節電への取り組みが進んでいます。
-----------------	------------	--	-----------------------------

(4) その他について

ア 危機管理対策の充実について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・合同防災訓練を年間2回実施します。危機の際には全員が一致して取り組みます。</p>	<p>① 危機の未然防止に努めます。</p> <p>② 危機管理マニュアル等を充実し、非常時の運用を図ります。</p>	<p>合同防災訓練等を通して日常的な危機管理意識向上に努め、危機管理マニュアルの充実を図りました。</p>	<p>常に設備会社とともに施設の点検と修繕を怠らず、大きな事故なく施設運営を行いました。</p> <p>3月11日の大震災においては危機管理マニュアルに基づき職員一致して対応にあたり、大きな支障なく施設運営を継続しました。</p>

イ 保険及び損害賠償の適切な取り扱い、個人情報の保護への適切な措置、情報公開への積極的取り組みについて

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・ホームページを活用し、横浜市とも調整の上必要な情報を開示します。</p> <p>・個人情報保護についての研修を実施し、常に注意を怠らないよう職員の意識を高めます。</p> <p>・市の所管部局とは月次報告のほか情報の交換を欠かさず連絡調整を図ります。</p> <p>・22年度も引き続き賠償責任保険、レジャーサービス保険、動産保険に加入し、事故の発生に備えます。</p>	<p>・職員の個人情報管理研修を実施します。</p> <p>・ホームページに情報を速やかに公開します。</p>	<p>常に個人情報の取扱いには注意して業務にあたりました。</p> <p>ホームページでは最新の情報を常に発信しました。</p> <p>企画展、アートサポーターやワークショップ参加者の館外での活動で適切に保険加入しました。</p>	<p>・随時個人情報管理研修を実施しました。</p> <p>・ホームページでの情報提供をきめ細かく更新し、寄せられるご意見には迅速な対応をしました。</p>

ウ 男女共同参画センター横浜北との連携について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・事業面では、共同事業の回数だけでなく、企画内容を調整し一体となって取り組みます。合同での企画研修を実施し、プロジェクトを組んで共同事業や広報に取り組みます。</p> <p>・運営面では、毎週定例の打ち合わせ他、月1回の合同職員会議を開催し、全職員で情報や意見の交換をし、「アートフォーラムあざみ野」の施設職員としての意識を高め、運営に取り組みます。</p> <p>・維持管理面では、毎週の管理運営打ち合わせ、毎月の合同管理会議などを欠かさず実施し、施設全体の管理運営の改善に共同で取り組みます。</p> <p>・委託会社にもそれぞれの財団のミッションや役割、事業内容、利用者の特性などについて研修などを通して丁寧に伝えていきます。</p> <p>・アートフォーラムあざみ野全体としての広報、施設や施設外の環境整備に対して引き続き協力して取り組みます。</p>	<p>①「アートフォーラムあざみ野」が横浜市内及び近隣地域に周知され、複合施設としてのメリットを生かしつつ、地域に根ざした良好な施設運営と特色ある事業展開を図り、男女共同参画推進と芸術文化振興というお互いのミッションがともに達成されることを目標とします。</p> <p>②月1回合同ミーティングを実施します。</p> <p>③毎週火曜日に管理ミーティングを実施します。</p>	<p>事業面、運営面、維持管理面のいずれも、情報交換と協働を図り、効果的な事業活動と管理運営を行いました。</p> <p>および 毎週の管理合同ミーティング、毎月の職員合同ミーティングにおいて全館的に連携をとり、協働のメリットを生かした運営に努めました。</p>	<p>事業面では、より緊密に企画を融合させて取り組みました。全館イベント「アートフォーラムフェスティバル」では、協働でイベントを企画し、広報や当日の運営においても協力することで、様々な年齢層の来場者を迎えることができました。</p> <p>と については遺漏なく実施し、適正な施設の管理運営を行いました。</p>

エ 横浜アーティストデータベースの構築と運用について

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
<p>・横浜におけるコンテンポラリーアートの展開と発展のために実施しま</p>	<p>①アーティストや作品のアーカイブや共有化を図ります。当財団が運営するアーツ</p>	<p>汎用性のあるデータベース作成に向けてプロジェクトを作り、動き出しまし</p>	<p>継続的にプロジェクトによる取り組みを推進しています。</p>

<p>す。</p>	<p>コミッション横浜に情報をデータベースとして一元化します。</p> <p>②新進アーティストを継続して支援していくことを重要なミッションとして位置づけており、積極的に取り組んでいきます。</p>	<p>た。</p> <p>「横浜 wo 発掘 suru 展」、あざみ野ナイト、「あざみ野コンテンポラリー」、ショーケースギャラリーにおいて、新進アーティストを積極的に紹介しました。</p>	<p>若手映像作家の志村信裕氏をはじめとして、黄金町のアーティストなど多数のアーティストを取り上げ、継続的に活動の支援をしました。</p>
-----------	---	--	---

## 5 収支決算額について

収支決算書

(単位:円)

項目	予算額	決算額	差額	備考
収入				
指定管理料収入	164,200,000	164,375,202	△175,202	地震に起因する市からの指定管理料
利用料金収入	12,000,000	12,404,945	△404,945	利用率好調による
事業収入	3,700,000	3,674,538	25,462	
その他収入	600,000	9,048,399	△8,448,399	助成金獲得等による
合計	180,500,000	189,503,084	△9,003,084	

支出					
人件費	72,212,000	59,511,685	12,700,315	人事異動による	
管理費	63,914,000	58,888,406	5,025,594		
内訳	水費	15,360,000	13,617,841	1,742,159	経費節減努力による
	委託費	47,454,000	42,413,353	5,040,647	経費節減努力による
	修繕費	1,000,000	1,921,982	△921,982	設備の経年 化による
	受託財産 入	100,000	935,230	△835,230	映像設備等の充実のため
事業費	34,500,000	39,003,676	△4,503,676	事業内容充実のため	
事務費	9,874,000	9,496,573	377,427		
合計	180,500,000	166,900,340	13,599,660		

収支計	0	22,602,744	△22,602,744	
-----	---	------------	-------------	--

## 別紙 自主事業実 一覧

### 1 文化芸術に直接出会える場

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	6月24日～ 7月4日	主催	横浜 〇発掘 suru 展 〇.1「黄金町の アーティストた ち」	展示室 2	黄金町のアーティスト を紹介する展覧会。	無料	1,535人 (1,500人)
2	8月18日～ 8月29日	主催	あざみ野こどもぎ やらりい 2010	展示室 1・2 アトリ エ	小学生までが楽しめる 展示とアーティストと ー につくるワークシ ョップなど。	無料	3,490人 (1,500人)
3	10月18日～ 11月8日	主催	川原平写真展 横浜市所蔵カメ ラ・写真コレクシ ョン展	展示室 1・2 アトリ エ	川原平が しな がら りためた写真の 公開と、収蔵コレクシ ョンの公開。	— 300円	4,555人 (3,000人)
4	2月4日～ 2月20日	主催	あざみ野コンテン ポラリーvol.1「イ メージの手ざわり 展」	展示室 1・2 アトリ エ、	アーティストが、現在行 っている表現活動に目 を向けた展覧会。サポー ターとの協働により企 画。	— 200円	3,244人 (1,500人)

### 2 市民やアーティストの創造活動の支援の場

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	市民のためのワー クショップ ①アートABC ②アーティストか ら学ぶ ③コレクションか ら学ぶ(写真学)	アトリ エ	①技術や材料、また道具 や機材の扱いについて の基礎基本の習得を目 的とした講座。 ②③アーティストから 独自の表現についてレ クチャーを受け、自らの 表現に生かす講座。	5,000～18,000円	延1,044人 (140人)

### 3 次代を担う子どもの創造性教育の場

○	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	子どものアトリエ フレンズ「親子の フリーゾーン」	アトリ エ	保護者と子どもが自由 に、粘土、絵の具、紙工 作による造形遊びを楽	無料	7,313人 (7,000人)



					しむ時間。		
2	4月～3月	主催	子どものためのプログラム わくわくワークショップ 親子で造形ピクニック	アトリ エ	①土曜、日曜講座 子どもを対象とした美術のワークショップ。 ②支援学級や特別支援学校に通う親子を対象に自分の好きな素材で造形を楽しむ。	① 500～1,000円 ② 100円	700人 (400人)
3	4月～3月	主催	学校連携事業 ①教師のためのワークショップ ②ティーチヤーズあざみ野プロジェクト ③アウトリーチ	アトリ エほか	①小・中学校の先生を対象に鑑賞や実技についてのワークショップ等。 ②中学校・高校美術研究会と連携して美術と親しむ機会を提供。 ③「横浜市教育文化事業」と連携して実施。	無料	①30人 (22人) ②4校(8回実施) (7校)

#### 4 創造活動と社会、市民活動を結びつける場、創造活動を介した人々の関わり合いの場

o	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	市民協働事業 ①あざみ野カレッジ ②アーティスト「今年の顔」 ③街なかアートプロジェクト	アトリ エほか (館外)	①アートに関する様々なことを、多彩な講師たちから学ぶ講座。 ②年間を通して新進アーティストを紹介。 ③アート 台で出張ワークショップを実施。	無料	①52人 (200人) ② ③3事業 222人 (3事業)
2	4月～3月	主催	市民協働事業 男女共同参画センター横浜北 共同事業 ①アートカフェ ②アートワゴン ③ショーケースギャラリー ④あざみ野ナイト ⑤エイブルアートギャラリー ⑥アートガーデン	アトリ エ、エン トラン スロビ ー、 アート プラザ ほか	①市民とアーティストとが 合う場。 ②アーティストや障がいのある人たちのアート作品を販売。 ③新進アーティストの作品およびカメラ写真コレクション公開をする小品展。 ④アートフォーラムの壁面やガラスを使って映像作品を映し出すイベント。 ⑤障がいのある人たちのアート作品を紹介するミニギャラリー。 ⑥アートプラザにア	無料	( ) での 開催のため)

					トなテーブルとベンチを設置。		
--	--	--	--	--	----------------	--	--

### 5 積極的な広報展開

o	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	ネット広報事業 あざみ野メンバーズ/あざみ野ネットワーク		ホームページを活用した、アート情報にアプローチしやすい体制作り。	無料	
2	4月～3月	主催	情報紙「アートあざみの」、HPによる情報提供		展覧会情報やアトリエ講座など当館開催事業のPRのほか、貸館の情報広報のため活用。		

### 6 カメラ・写真コレクションの適切な収蔵、保管、調査、研究、発表、活用、展示

o	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	主催	横浜市所蔵カメラ・写真コレクション保存活用	収 蔵 庫、エ ントラ ンスロ ビー	①データベース入力、資料の映像記録化。 ②コレクションの力を広く紹介するための展示、貸出や熟覧等。	無料	

### 7 男女共同参画センター横浜北との連携

o	実施時期	主催 共催	事業タイトル	会場	事業内容	入場料・受講料	入場者数 (見 者数)
1	4月～3月	共催	センター横浜北共同事業 アートフォーラムフェスティバル	全館	アートフォーラムあざみ野の開館を記して毎年10月に全館あげて実施。	無料	2,829人 (4,500人)
2	4月～3月	共催	センター横浜共同事業 Welcome ロビーコンサート(Ws含む)	エント ランス ロビー	市民広間演 会の演を中心、様々なジャンルの楽を楽しんでいただくミニコンサート。	無料	2,089人 (2,900人)
3	4月～3月	共催	センター横浜北共同事業 「あざみ野サロン」		194 を会場に講演会やイベントを開催。	無料～2,500円	3公演・524人 (3公演・440人)
4	6月	共催	こころと体を考えるワークショップ	ス タジオ	素材、体、リズムなどをテーマにした講座。	2,000円	12人 (20人)